

第2回全国特別支援学校フットサル大会

中国地区・四国地区大会 実施要項

1 大会の基本コンセプト 『自立とRESPECT』

○自立への願い

日本ライオンズは、特別支援学校では、多くの生徒が卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるようにと願い、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指します。このため、通常の競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECTを示す大会を目指します。

このため、会場での行動を通して、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣い

を期待しています。

2 主 催 一般財団法人日本ライオンズ

3 後 援 スポーツ庁、全国特別支援学校長会、一般財団法人岡山県サッカー協会、

4 主 管 IPU・環太平洋大学

5 協 力 IPU・環太平洋大学サッカー部、

6 開催期日 2023年8月27日(日)

7 競技会場 IPU・環太平洋大学第4体育館

〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺 721 TEL:086-201-3171(体育会事務局)

8 参加資格

- (1) 基本的には、特別支援学校(高等部)毎の参加とする。
- (2) 同校でも校舎が違う場合は出場可能とする。

9 参加人員

1チームは、生徒5~8名、引率1~2名、計6~10名で編成すること。

10 競技方法

- (1) 参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、順位決定戦を行う。
- (2) 順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝3、分1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の得失点差
 - ② 当該チーム内の総得点数
 - ③ 失点数
- (3) 試合時間は16分(前・後半8分)のランニングタイムとし、ハーフタイムは4分間(前半終

了から後半開始まで)とする。

11 競技規則

事業実施年度のフットサル競技規則による。また、本大会の競技会規程を下記の通り定める。

1. ピッチ:37m×20mとする。
2. ボール 試合球:モルテン製ヴァンタッジオ 4号ボール
3. 競技者の数:5名、交代要員の数:5名以内(※要相談)
4. 選手の交代は自由である。
5. 試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。
6. 交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。
7. 交代ゾーンは設置しない。自陣ベンチ付近にて交代をする。
8. キックインはボールがピッチから出た地点から、外に 25cm以内の地点から静止したボールを蹴る。
9. ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から実施する。
10. キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
11. キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は5m以上離れる。
12. 試合は5ファウル制を適用しない。
13. 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。
14. なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
15. バックパスルールは競技規則通りに適用するが、主管組織で地域の状況等を踏まえて決定する。(※要相談)
16. 退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
17. 選手はユニフォームを着用する。ユニフォームがない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。
18. 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
19. 靴はフットサルシューズ(インドア用)もしくは靴底がフラットで安全にプレーできるものに限る。
20. ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。
21. ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。
22. 眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。
23. ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
24. 審判への監督や選手からの不平不満、異議、抗議などがあった際は警告します。場合によっては、チームを失格とし会場からも退場してもらいます。各校指導者の審判への不平不満は一切禁止です。

12 ユニフォーム

ユニフォームがない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。

13 組み合わせ

IPU・環太平洋大学において抽選の上決定する。(ZOOMにて)

14 表彰

各地区の優勝、準優勝、3位のチームまで表彰する。優勝および準優勝チームにはトロフィーを授与する。

大会で優勝した学校は、令和5年2023年11月3日(金)～11月4日(土)福岡県福岡市で開催の全国特別支援学校フットサル大会に出場する。(なお、都合により出場できない場合は、準優勝等の学校が出場する。)

18 傷害補償

チームの責任において、傷害保険に加入すること。

19 代表者会議

行わない。

20 弁当について

弁当については予約制とし、希望するチームには当日の昼食分を大会運営側で準備する。

21 個人情報保護について

本大会における選手登録情報等の個人情報については、本大会業務遂行の目的のみに使用する。

22 その他

- (1) WBGT(熱中症指数)の値により飲水時間又はクーリングブ레이크を両チーム、審判団、マッチコミッショナーと協議し、下記のとおり、実施する。
 - ①WBGT(熱中症指数)が 28℃以上に達した場合は飲水時間を設ける。
 - ②WBGT が 31℃以上の場合、クーリングブレイク(3分)を設ける。
- (3) その他、疑問、不測の事態等が生じた場合には、会場の競技委員の指示に従うこと。

23 問い合わせ

IPU・環太平洋大学サッカー部 監督 桂 秀樹

IPU・環太平洋大学サッカー部 コーチ 坂手 雅斗